

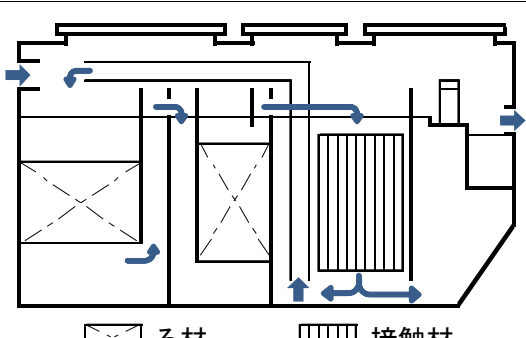
事例 28 タイマー取付けによる間欠ばっ気運転（保守点検業者の水質改善事例）

1. 基本情報および一年間の測定結果

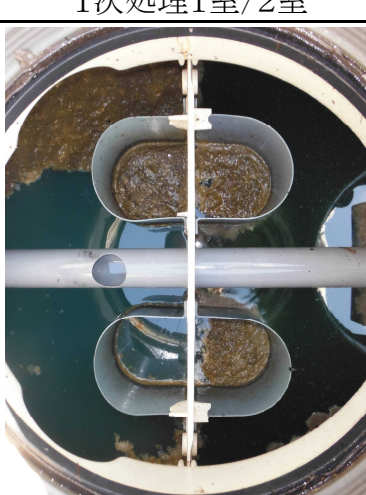
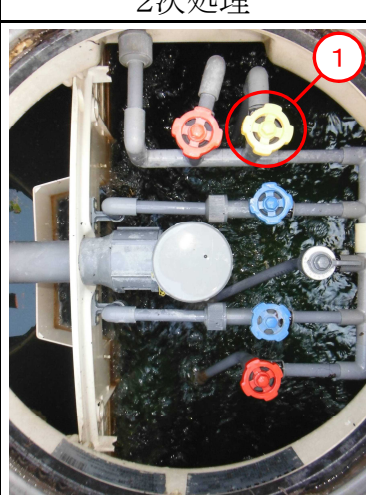
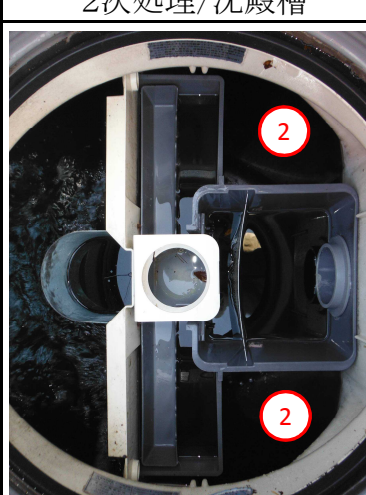
処理方式	構造例示型 嫌気ろ床接触ばっ気	作業予定月	
メーカー／型式	(株)クボタ／HS-P型	保守点検	4・8・12月
人槽／使用人員	5人槽／2人使用	清掃	6月
日平均汚水量	井戸水と併用	法定検査	2月

	放流水透視度(度)	DO (mg/L)	pH	1次処理流出水透視度(度)	1次処理1室 (cm)		1次処理2室 (cm)		沈殿槽 (cm)		
					スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	
清掃	平成25年6月4日	17	/	6.5	10	0	30	/	30	/	/
保守	<u>平成25年8月12日</u>	19	5.4	6.2	13	0	5	0	20	0	0
保守	平成25年12月10日	30	2.2	6.6	18	0	23	0	10	0	3
法定	平成26年2月20日	33	4.2	7.3	17	0	25	0	12	0	7
保守	平成26年4月28日	41	3.4	7.4	23	0	30	0	10	1	8


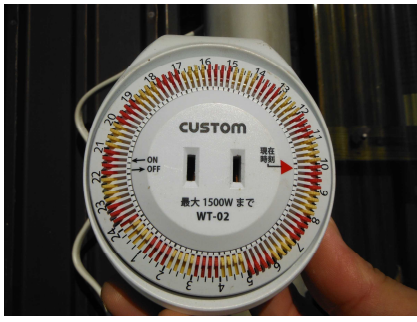
2. 浄化槽の概要図と法定検査時の設定状況

概要図		法定検査時の設定状況		
		メーカーの基本設定	保守点検の設定	
		空気逃がしバルブ	全閉	1/2回転開
		循環水量(移送水量)	2~6 L/分	停止


3. 法定検査時の槽内状況

1次処理1室/2室	2次処理	2次処理/沈殿槽
		
1室スカム厚 0cm 堆積汚泥厚 25cm	①空気逃がしバルブ調整中	②沈殿槽スカム厚 0cm 堆積汚泥厚 7cm
※撮影の為、消毒筒は取り外しています		

4. 水質改善対策方法

タイマーの取付状況	
	
取付日 <u>平成25年8月12日</u> (保守点検時) 雨に当たる恐れなし	カスタム(株) WT-02 ばっ気停止時間(0時～5時)

5. 対策の効果

2次処理の状況	沈殿槽および放流水の状況	警報器について
		<ul style="list-style-type: none"> シンワ製(Paスカル)はブロワの圧力低下を検知後警報を発報するまで3時間あり、間欠ばっ気との組み合わせに適している
ばっ気を止めた状態 SSが沈降するようになり 透視度が向上する	放流水透視度 33度	

6. 保守点検時の留意点

- ① 空気逃がし調整で水質が改善されない施設に検討
- ② 水質改善後はタイマーを外し経過観察する
- ③ DO値が、ばっ気攪拌時に1.0mg/L以上になるよう調整を行う

7. 清掃時の留意点

- ① 適正量引抜き区分 ○-○-☆
 - ② タイマーの現在時刻が合っているか確認する
 - ③ コンセントの接続状況に不備がないか確認する
- 【ろ材の形状】 1次処理1室:網様板状 2室:骨格様球状